

事務事業名	相談支援事業	所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課
総合計画体系	政策名	〈Ⅲ〉支えあい健やかに暮らせるまち〈保健・医療・福祉〉	所属G	障がい者福祉G	課長名 熱田 小百合
	施策名	〈22〉障がい者〈児〉福祉の充実	担当者名	福島 理恵	電話番号:0854-40-1042 (内線) 2153
	目的対象	障がいのある人 意図 地域で、いきいきと安心して暮らす。	予算科目	会計 款 大事業 大事業名	地域生活支援事業
	基本事業	〈064〉障がいに関する相談体制の強化		0:1:1:5:4:0	中事業 中事業名
目的対象	障がいのある人 意図 障がいに関して相談できる。	0:5:4:5:0:3			

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
障がいのある人・難病患者およびその家族	自立した日常生活および社会生活を営む
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H18 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	障がいのある人等からの相談に応じ、必要な情報の提供、関係機関との調整や権利擁護のために必要な援助などを行う。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動) 指定特定相談支援事業所に事業を委託して実施。	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 市内指定特定相談支援事業所への委託。 基幹相談支援センターを中心とした、市内相談支援業務の強化を図っている。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 相談支援事業相談件数	件	19,665	16,121	14,625	15,000
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)		② コストの推移		単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
委託料 27,800千円	財源内訳	国庫支出金	千円	1,794	1,865	1,519	2,500	
		県支出金	千円	1,250	1,250	1,494	1,250	
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	24,756	24,685	24,787	24,050	
事業費計		千円	27,800	27,800	27,800	27,800		

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	障がいのある人等の福祉に関する各般の困りごとや課題について相談に応じ、必要な情報の提供及び助言その他の障害福祉サービスの利用支援等必要な支援を行っている。
② 事業実施するうえでの課題	相談業務は多岐に渡る場合が多く、他分野・他事業との連携による包括化が必要。 また、障がいのある人等の福祉に関する相談先として、基幹相談支援センターがあることについての認知が低いため、広く周知する必要がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	他分野・他事業との連携により包括的に相談支援を実施する方法を検討する。 基幹相談支援センターのチラシを作成し、周知する。